



元禄六年
令和8年
社会福祉法人
秋川あすなろ会

毎日暑い日が続きます

地球全体の温度が高くなっているとの事、しかも私達の国日本の海の温度は、どの国よりも高くなっている... テレビでのニュースに心配になります。

魚が大量に死んで浮んでいたり、今まで水揚げされていた魚がまったく姿を見せなくなったり... 一方ゲリラ大雨、雷にはもうたくさん...

それにしても自然現象の急変にはまったく困ったものです。

深く考えれば、人間が造り出した現象かも知れませんね。

あだちうこちらで急変する天候の様子に、老いた身では、うっかり外出もままならず、熱中症も怖く、それかと、一日中冷房の部屋では体中が冷えて...

早くしのぎやすい秋の気配が欲しいものですね。勝手な事を言うのは、せい多クといふものですね。

自然災害で避難生活している人達の事を考えれば、まだまだ幸な方です。日頃からいざという時の申し合わせを家族でしておくことや、非常食の準備を心掛けておくことがおめられますね。

松本は、最近では、むしろ大地震もあつたら、サッと避難場所まで行けな... と半分あきらめ半分たたりします。せめて、風呂水を... ャットボット... お茶と... 非常食と... と、守りの心境を自然災害のない事と柳白のみをす。

「はやく起きい」

この頃、朝のめめめが四時〜五時に、きつくつく、年寄りなため... と思ひます。

今から五十年前位前のこと

義父母が上京した時のことを思ひ出さず、義父が朝四時起きまで、雨戸を開けて、散歩に出掛けるのです。

私が、雨戸を開けるのは、おめめめと頼むと頼むと

「何故...」 私が、目がさめてしまうのが、たつたら起きれば良いとは思ひませんが...

まだぬいぬいのです... のやり取りをした思い出。

若い時は、いくらでも、ぬいぬいのに、高令になつと何故か、夜半に何度も目が覚めてしまうのです。

あの時は、義父の気持ちと理解する言葉とを掛けてやれなかつたなあ... と今ごろ、気付いています。

こんな事が数多くあります。若い時、全然、気付きのなかつた自分が居た、ことが多少、恥かしい気もします。

子どもも此方来た道だ、年寄り笑うな行く道だ、諺があります。

暑い夏も必ず涼しい秋が来ます。

この夏の思い出、お子さんと、又は家族で、どんなやり取りがあつたか、語り合ふことも、暑さを忘れりこと、なるかも知れませんね。

語り合える家族がいり、いいことですね。子どもの成長の姿を確認して、その事を、お子さんに直接語りあげてもいいですね。あたたかい気持ちで、体中を流れると、思ひます。(私史乱筆をお免なさい)